

モニタリング結果報告書 (平成29年度)

1. 施設概要

施設名	三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設		
所在地	三浦市三崎5丁目167番2号、4号、11号の一部		
サイトURL	http://misaki-marinecenter.com/		
根拠条例	神奈川県漁港管理条例		
設置目的(設置時期)	三崎漁港を一時的に利用するプレジャーボートの本港特別泊地に集約することによって、プレジャーボートと漁船を分離し、円滑な漁業活動を確保するとともに秩序ある漁港利用を推進するための特別泊地及び、地域振興を図るための駐車場、交流広場、特定目的岸壁を設置する(平成13年4月共用開始)		
指定管理者名	スバル興業株式会社・株式会社三浦海業公社		
指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日	施設所管課	水産課(東部漁港事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況はB評価、利用者の満足度はS評価、収支状況はC評価であり、3項目評価はB評価とした。収支状況については、管理棟の階段部の修繕のための木材購入等により支出が増えた状況である。対策については、経費削減に努めるとともに、閑散期に集客できるイベントを計画し、施設利用者数を増やす方を検討する。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆ 管理運営等の状況 事業計画に基づいた施設運営を適切に実施した。特に、泊地内における案内・誘導では、ノウハウを活かしたサービスを提供した。防舷材や係留ロープの無料貸し出しを継続して行っており、利用者から高い評価を得ている。また、利用規則・利用料金について、分かりやすく掲示するなどし、利用者が平等に利用できるよう努めた。</p> <p>◆ 利用状況 ゲストバースの利用は天候に左右されるが、前年度比で利用数プラス5.5%、利用料金もプラス3.7%となっている。駐車場利用は前年度比で台数はプラス0.5%、利用料金はマイナス1.2%であった。釣り客の長時間利用が増えたことにより、台数が微増しても料金は微減したと思われる(3時間以上の利用は同一料金)。その結果、目標達成率は85.3%となり、B評価となった。 地域のまつりへの参加や当該施設を利用した催しものが定着してきており、集客に努めているところである。引き続き利用者数増に向けた努力が望まれる。</p> <p>◆ 利用者の満足度 10月にアンケートを実施し、上位2段階の回答割合が96.1%となったためS評価となった。 利用者へ直接声をかけて協力していただいたため、未記入項目があっても回収している。そのため項目によっては回収数と一致していないものがある。 施設・設備に対する不満が多く、職員の対応についての評価は、上位2段階の回答割合が100%であり、指定管理者の努力が見られる。</p> <p>◆ 収支状況 収支比率が78.2%であり、C評価となった。 安全安心な施設運営のための有資格者の雇用等により、指定管理業務の支出が前年度比プラス4.4%となった。収入は、「その他収入」が前年度比マイナス16%であったため、収支差額のマイナスが前年度よりも増した。経費削減、サービス向上及び自主事業の工夫により利用客数の増加に努め、引き続き収支状況の改善に努めるよう指導した。</p> <p>◆ 苦情・不祥事等 指定管理者に起因する苦情・要望等はない。施設等に対する要望については県に適切に情報提供しており評価できる。</p> <p>◆ 事故・不祥事等 平成29年度は事故・不祥事等はなかった。引き続き安全管理を含め適切な施設運営に努めることが望まれる。</p> <p>◆ 労働環境の確保に係る取組状況 指摘・指導事項はなかった。</p> <p>◆ その他 平成29年度の3項目評価については、B評価とした。今後も適切な管理運営を行うとともに、利用者が満足しリピーターが増えるようサービス向上に努めることが望まれる。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	なし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月1回	なし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
年度協定書の事業計画書において、施設の維持管理に関する業務、施設の運営に関する業務等についてそれぞれ具体的な業務内容及び作業頻度が提案されている。	各業務とも提案のあった作業内容及び作業頻度は満たされており、指定管理業務は適切に実施されていた。	今後も適切な運営が望まれる。
秩序ある安全な漁港とするための管理運営を行う。	知識や経験が豊富な職員による係留サポートを行っている。また、防舷材や係留ロープの無料貸出しを行い、利用者から高い評価を受けている。	ゲストバースの利用者から高い評価を得ている。今後も利用者満足度の高いサービス提供が望まれる。
魅力ある観光の核づくりのための管理運営を行う。	地域振興を目的とした「三崎・城ヶ島夏まつり」の実行委員事務局を務めるなどし、施設利用者及び地域から高い評価を得ている。 また、HP及びSNSを活用し、イベント等の最新情報を発信したり、施設周辺の飲食店を紹介するグルメMAPを配布したりし、好評を得ている。	地域振興に積極的に携わることで、施設利用者数を増やす努力をしていることが認められる。今後も、地域振興につながる事業展開が望まれる。
公共施設としての管理運営を行う。	利用者の安全確保を図るため、台風等の荒天時には艇の係留状況を確認している。また、防舷材や係留ロープの無料貸出しを継続している（随時）。	今後も適切な運営が望まれる。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
バーベキューグリル・テーブルの貸出、食材等の販売	1年を通してバーベキュー会場を提供している。春から秋にかけて平均月29件の利用があった。
クルージング（城ヶ島周遊観光船）の運行	クルージング事業は、7回運航され、85名の利用があった。利用者からの評価は高かった。
海上生簀を利用した体験釣り施設への通船の乗下船のための岸壁利用サービス	体験釣り施設への通船発着場の利用は平均月15回程度あり、地域振興に協力した。
ゲストバース利用者への給水サービス	一年を通して提供し、利用者から高い評価を得た。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	平成29年度
利用者数※	36,613	32,449	32,689
対前年度比		88.6%	100.7%
目標値	37,776	37,570	38,321
目標達成率	96.9%	86.4%	85.3%

目標値の設定根拠： 泊地：提案時の事業計画書の年度目標
駐車場： //

利用者数の算出方法（対象）： 泊地：利用届出書の集計
駐車場：自動精算機による集計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

駐車場利用台数
泊地利用隻数

6. 利用者の満足度

評価	<<評価の目安>> 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	詳細アンケート 実施時期：平成29年10月1日～10月31日 実施方法：声かけによる協力依頼	回収数は51件であった。施設利用者の協力を得ることが難しく、未記入の項目もあった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 総合（とても良い・良い・あまりよくない・悪い）

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 51 / 51 = 100.0%

配布(サンプル)対象 特別泊地利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	14	35	2	0	51	隣接のマルシェで魚介や魚を買って、BBQできる場所があってよい。
回答率	27.5%	68.6%	3.9%	0.0%		
前年度の回答数	10	14	1	0	25	
前年度回答率	40.0%	56.0%	4.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	68.6%	122.5%	98.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマ イナスが生じている)：85%未満
C	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々 年度	当初 予算		15,603	1,545	駐車場1時間利用 券の販売収入	17,148	27,230	-10,082	
	決算		14,983	2,086	駐車場1時間利用 券の販売収入	17,069	27,100	-10,031	62.99%
前年 度	当初 予算	3,850	16,321	1,908	駐車場1時間利用 券の販売収入	22,079	22,079	0	
	決算	3,848	15,553	1,741	駐車場1時間利用 券の販売収入	21,142	25,627	-4,485	82.50%
29 年度	当初 予算	3,850	16,647	1,946	駐車場1時間利用 券の販売収入	22,443	22,443	0	
	決算	3,848	15,610	1,465	駐車場1時間利用 券の販売収入	20,923	26,751	-5,828	78.21%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

29年度 / 0 前年度 / 0 前々年度 / 860

<備考>

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容	対面	多数 件	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲストバースの夜間利用ができるようにしてほしい ・ゲストバースの係留スペースを拡げてほしい 	規定で利用時間や係留スペースが決まっていることを丁寧に説明した。
		件		
その他	対面	多数 件	<ul style="list-style-type: none"> ・泊地利用料改定後、料金が低い。 ・曳波被害は、管理者に賠償責任があるのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・艇の大きさに応じた公平な料金改定であることを丁寧に説明した。 ・SNS等で最徐行での航行を呼びかけた。海上保安庁への捜査依頼や協力を行った。
	対面	1 件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	該当なし
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。